

平成24年度

農業者戸別所得補償制度の交付申請を 4月より受付開始します

※交付を受けるには【営農計画書】・【交付申請書】・【振込口座届出書】の提出が必要です。

農業者戸別所得 補償制度の概要

「食」と「地域」の再生に向けて

| 目的 | 対象作物 | 交付対象者 |
|---|--|---------------------------------------|
| 販売価格が生産費を恒常に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持します | 米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょ、そば、なたね 水田については、水田活用の所得補償交付金として、これに加えて、飼料作物、米粉用・飼料用米、WCS稻、加工用米、地域特産物も対象 | 対象作物の生産数量目標に従って販売目的で生産（耕作）する販売農家・集落営農 |

畑作物の所得補償交付金

【数量払】

| 対象作物 | 平均交付単価 |
|------|--------------|
| 小麦 | 6,360円/60kg |
| 二条大麦 | 5,330円/50kg |
| 六条大麦 | 5,510円/50kg |
| はだか麦 | 7,620円/60kg |
| 大豆 | 11,310円/60kg |

【水田・畑地共通】

| 対象作物 | 平均交付単価 |
|-------------|--------------|
| てん菜 | 6,410円/トン |
| でん粉原料用ばれいしょ | 11,600円/トン |
| そば | 15,200円/45kg |
| なたね | 8,470円/60kg |

注1:小麦については、パンや干菓子等品種を交付する場合は、数量払に2,550円/60kgを追加して交付単価の90a当たりの面積換算額では、現行の品目換算交付金に比べて、小麦は約3千円、大豆は約1万円の増額注3実際の支払は品種区分に応じた単価で行われます。

【面積払（営農継続支払）】

前年度の生産面積に基づき交付 2.0万円／10a

<畑作物の所得補償交付金のイメージ>

数量払

営農継続支払 (2万円)

平均単価

交付金

水田活用の所得補償交付金

【栽培作物助成】

| 対象作物 | 交付単価 |
|----------------|-----------|
| 麦、大豆、飼料作物 | 3.5万円/10a |
| 米粉用米、飼料用米、WCS稻 | 8.0万円/10a |
| そば、なたね、加工用米 | 2.0万円/10a |

【二毛作助成】 1.5万円/10a

【耕種連携助成】 1.3万円/10a

【产地資金】 地域の実情に即して、麦・大豆等の栽培作物の生産性向上、地域特産作物や備蓄米の生産の取組等を支援

【米に対する助成】

【生産数量目標を守った農業者が対象】

【米の所得補償交付金】 1.5万円/10a

【米価変動補てん交付金】 当年度の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を補てん

加算措置等

品質加算

畑作物について数量払の交付単価を品質に応じて増減

規模拡大加算

耕種の大小にかかわらず農地利用面積円滑化事業により、面的面積（連絡化）した場合、利用権設定した面積に2万円／10aを交付

再生利用加算

畑の耕作放棄地を解消し、麦、大豆、そば、なたねを作付けた場合に、一定額（2~3万円／10a）を最長5年間交付

緑肥輪作加算

畑地に地力の維持・向上につながる作物を栽培してすき込む場合（休耕緑肥）に、1万円／10aを交付

集落営農の法人化支援

集落営農が法人化した場合に、40万円を定額で交付

推進事業等

生産数量目標の設定や作付確認等を行う都道府県、市町村等に対して必要な経費を助成

「農業者戸別所得補償制度」に関するお問い合わせ、ご相談は

0120-38-3786

農業者戸別所得補償制度ホームページ <http://www.maff.go.jp/>

農林水産省

「農業者戸別所得補償制度」に関するお問い合わせ、ご相談は、

中国四国農政局 津山支所
JAつやま 営農センター西部地区
鏡野町役場 産業観光課

電話 (0868) 22-5151
電話 (0868) 54-0582
電話 (0868) 54-2987